

## ポーポキの「ねこにもわからない！安部総理の安保法制」

### その1 前提がわからない！

・日本国憲法は、ほかの国の戦争を無視するとは言っていない。武力でもってかかわらない。確かに戦争の形態は変わってきているし、残虐なことが多いかもしれない。けれど、それでどうして武力が必要になってきたわけ？だからこそ、中立な立場から紛争解決の腕を磨けば良いのでは？ねこの場合、喧嘩しないと言ったら、喧嘩しないね。いくらエサがおいしそうに見えても、わけてくれるまで説得する。



### その2 過程がわからない！

・日本は民主主義国家でしょう。つまり、議論するとか、国民の意見を聞くとか、投票するとか、重要な決定に国民の参加が前提でしょう？だったら、どうしてあんなに急いでいるの？どうして押し付けるの？反対と大きな声をあげている国内外の人にどうして「うるさい！」ですむの？しかも、被ばく者の声や空襲を受けた市民の声、精神的なトラウマを今日まで引きずっている兵士の声は聞こえないの？ねこの社会には秩序があるので、決定は段階を踏んでなされる。人間はねこ化すべきかも。



### その3 うらづけがわからない！

・政府は憲法学者をはじめ、たくさんの方の意見をうかがった。で……。気に入らない意見が多かったので、聞かないことにした。そういうのって、聞かなくてよいもの？ねこだって、みんなが「ダメ」だといわれたら考えるよ。



### その4 だれがだれをどう殺すかがわからない！

・自衛隊は限りなく自衛軍に近くなる。軍隊は人を殺す組織であり、軍人は人を殺すし、殺される。だから自衛隊も人を殺すし、自衛隊員は殺されるだろう。猫も殺されるでしょうね。そして、やがて戦争となり、人を殺したり殺されたりしたい人はあまりいないだろうから徴兵制度が導入される。そのとき、男女平等といって、男の子も女の子も戦場に送り出される？多くの「新型戦争」は、武器が安易に手に入るからなおコントロールできない。なのに、日本も武器輸出におけるしほりもゆるくなる。ねこは相手を傷つけても殺しはしない。人間さま、ねこにみならいなさい！



おまけ…。  
安全でも安心でもない、今の状態…。

泣く！



鳴く！



大きな声で鳴き  
ながら行動す  
る！



神戸大学&ポーポキ・ピース・プロジェクト  
ロニー・アレキサンダー